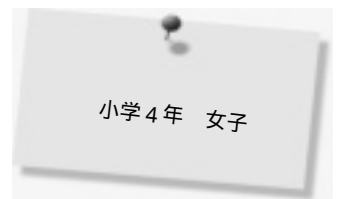


# シオンの子

第 25 号  
2010.10.28



## 未来の僕への手紙

拝啓

未来の僕、あなたに聞きたい  
 事があります。あなたは、今、  
 幸せですか。ぼくが若い頃の理  
 想の家庭は、夢から現実に変わ  
 りましたか。大切な人を失うこ  
 とのない、過去とは違う僕になっ  
 てくれていますか。

過去、僕が失った物は、取り  
 戻せましたか。あの日、大切な  
 永遠に残ると思っていた物は、  
 今も、胸の奥深くで抱きしめて  
 いますか。過去の僕の非力さ、  
 あの時、足りなかった何かは、  
 掴み、抱き、分け与えることが  
 出来ていますか。

この手紙の意味は、過去の僕  
 そして未来のあなたを、大きく  
 時には小さく、魂を揺らすかも  
 しない。

あなたが過去の僕の頃、ずつ  
 と夢見ていた、あの輝き、今も  
 まだ、残っていますか。

中1 男子

・学園「詩・作文コンクール」  
 中学校の部 優秀賞作品・

編集 社会福祉法人子持山福祉会 〒377-0203 群馬県渋川市吹屋 201-1  
 発行 印刷 児童養護施設子持山学園 TEL 0279-23-1152 FAX 23-1153  
 E-mail komochiyama1952@mist.ocn.ne.jp

## 人生の時・時

社会福祉法人子持山福祉会  
理事 小野 宇三郎

青山光二という名前をご存知でしょうか。世間ではあまり知られていないようですが、氏は織田作之助、太宰治と同時代の人で、満九十歳にして短編小説「吾妹子哀し」で平成十五年に川端康成賞を受賞しています。友人の織田作之助の活動期からみれば六十年余も遅れての開花です。その持続的なエネルギーはまさに驚嘆に値するといえるでしょう。

五位となっています。こうした世界に冠たる長寿社会になって、人生の長距離レースを制した青山氏の生きざまには、大いに勇気づけられるし、惜しみない称賛が送られるべきだろうと思います。

氏のくわしい経歴は知りませんが、七十年以上に及ぶ日々、たゆまない努力の積み重ねが、最後に実を結んだということだろうと思います。

私たちはみんな「一生」という人生の帯の中で過ごしています。その一瞬の「時」、例えば、老人が安らぐ一時間、青年が仕事に打ち込む一時間、主婦が料理をする一時間、子どもがいたずらをする一時間……行内内容は異なっても、その人にとって、それは貴重な価値のある時間です。その「時」の積み重ねによって、一つの人生ストーリーが描かれます。

人生にはいろいろな時期があります。幼児期から青少年期は、自我の成長とともに社会への眼が開かれる時期であり、心身を鍛え、学習し、様々な体験を積み重ねなければならぬ時期です。

園児には、その貴重な「時」を有意義に過ごさせてやれるようにと願っています。

## 当たり前の生活を大切に

児童養護施設子持山学園  
施設長 豊田 誠

先日、新しく男の子が入所しました。初めてのことばかりでいろいろなこと興味津々です。冷蔵庫の中、押し入れの中、机の中……自分の物と他人の物との区別がまだよくわからない。食べ物には、特に執着があるようです。一週間後、すっかりとけ込んでいて、みんなと同じリズムの生活が送れています。素直で、やる気があつて今後の成長が楽しみです。保育士や指導員、学園職員の努力が結果として子どもは変わっていきま

す。特に、衣食住の規則正しい当たり前の生活が、子どもをよい方向へ導く力になっていると思います。

今年度は、卒園生や家庭復帰の子どもも多く、四十七名の子とも達と生活が始まりました。一人一人に寄り添った支援に力を注いでいます。四月には、元旦の実業団駅伝で優勝した日清チームのアンカー小野裕幸選手が来園し、「目標に向かつて努力すること、考え実行することの大切さ」を伝えてくれました。五月には「こどもの集い」をしました。地域の人やお世話になっている人達を招待し、子ども達もアイディアをこらした催しで交流を持つことができました。その後ボランティアの方々、いろいろな行事に招待してくださる団体等があり、多くの人々に支えられて、子ども達も頑張れているんだと実感しています。新聞には虐待の相談件数が四万を超え、施設が足りないという記事が出ました。学園では一人でも多くの子ども達を受け入れ守ってやりたいという気持ちで一杯です。三月には小規模グループケア「シオンホーム」が新築され、より家庭的な暖かなホームを目指しています。

暑い夏休みも、子ども達は行事と勉強に元気に取り組みました。自然体験、農業体験、人々との交流、各種大会に参加と充実していました。これからも皆さんと共に、当たり前のことが当たり前に行きたい生活大切に歩んでいきたいと思っています。



子どもの養育を考え

第7回

## 信じるということ

### 児童養護施設 子持山学園

統括主任 太田 優子



毎年春になると、子持山学園にツバメがやってきます。

親となるツバメは、何度も巣を作る為に往復します。立派にできる巣もあれば、途中で壊れてしまう巣もあります。

何日もの間メスツバメは、巣で卵を暖めます。やがて卵はヒナとなって産まれてくるのです。

ヒナは親がエサを運んでくれることを待ち続けます。巣の中で兄弟身を寄せながら、ただひたすら親鳥を待ち続け、親鳥が戻ってくるのを信じ続けるのです。

親鳥は、ヒナを育てる為にエサを捕って来ます。ヒナが巣から落ちていないかへびに襲われていないか、とても心配な気持ちでエサを運んでくるのではないかと思います。

子どもたちは、当たり前のように親を信じています。どんな時でも親を絶対的な存在として待ち焦がれているのです。

子持山学園の子どもたちも同じです。その思いがかなわない中で職員という大人と生活を送っていくのです。

人を信じること、人に守られることを感じ、人は信じられること、人を守ることを覚えていけるのではないのでしょうか。

先日私が受けた研修で、児童養護施設で子どもを処遇していく中で、最も大切なことは「愛情」であり、その「愛情」を子どもに伝える技術が必要なのであるという言葉が聞きました。ここで「愛情」とは子どもが社会の中で育ち、自立していくことを深く望む気持ちだと思っています。

ツバメがひたすら親鳥を待ち続けるように、そして親鳥がただひたすらヒナにエサを与え続けるように、子どもたちに愛情を注ぎ続けることができれば、また子どもたちが愛されているという実感を得られるように頑張っていきたいと思えます。

秋風が吹くころ1羽のツバメが壊れた巣の上にとまっていました。帰れる場所だったのでしょうか。





夏の猛暑が過ぎ、小麦色が焼けた子どもたちの姿をみると、一段と大きくなったように感じ、嬉しく思います。

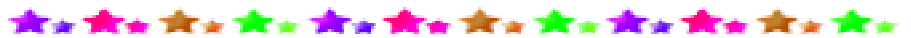
現在、ひかりホームには、高校三年生のMちゃんをはじめ、六名の子もたちが一緒に生活をしています。Mちゃんは、高校一年の時にひかりホームへ移ってきました。Mちゃんを迎え入れてから二年近くが経ち、振り返ると、Mちゃんから色々な事を学ばせてもらいました。

以前は、Mちゃんと話をしているとき、Mちゃんは「私のことなんかどうでもいいんでしょ」と言ってお部屋に入ってしまう等、すれ違うことが多くあり、悩みました。Mちゃんのことを避けたいと思うこともありましたが、心理職の先生に相談ののってもらったこと

で気持ちが前向きになり、Mちゃんの『言えないでいる気持ち』にも気づくことができました。Mちゃんときちんと向き合ってお話したことは、Mちゃんにとっても私にとっても素直に自分を受け入れるきっかけとなりました。「困った時は一人で抱え込まないで助け合おう」とMちゃんに伝えた言葉が私の心に響いたのを今でも忘れません。

あと半年余りで卒園し社会人となるMちゃん。今までのMちゃんの頑張りを見山ほめて自信へとつながるように、みんなで送り出してあげたいと思います。

保育士 五十嵐絵美



ここに来て三年目、二回目のシオンでの夏休みを過ごしました。

とても暑い日々でした。今年には宿題に気合いが入り、お盆前にはみんなほぼ宿題が終わりといった形でとてもよく頑張りました。ホーム旅行でも去年と同じラウンドワンとデイズニールランドでみんな楽しく過ごしました。

二年目という事で子ども達も甘えだったり、わがままであったり、お互いに自分を出せる場面が多くなったかなと思います。慣れというものも怖いもので、時々きちんと子ども達の声を聞いているのかなと不安になります。当たり前の毎日で繰り返しになってしまいい、見落としてしまつては



いないか、自分の感情を押しつけてしまつてはいないか、自分一人ではなかなか判断することはとても難しいです。

今年には卒園生の子どももいて、今のシオンでいられるのも少しです。寂しい気持ちと巣立つて行く嬉しい気持ちと色々な気持ちがありますが、後悔のないように日々振り返り、そして周りの人の意見や助言を聞いてシオンの子ども達と共に成長していきたいと思えます。そして、みんなが楽しかったと思えるホームになるといいなと思います。

保育士 町田麻奈美



座

星たち～



ほし みんなは、明るく元気で、少し恥ずかしがり屋ですが、とても可愛い大切な子どもたちです。先日、ほしホームで一番小さな年少のKくんが男の子ホームへお引越となりました。子どもたちもKくんは男の子なので、いつかはホームが替わることが分かっていましたが、急なことで、彼がやって来た時から寝食を共にして家族のように生活してきたので、心は複雑な想いで一杯だったと思います。子どもたちは一人ひとり違った表現で淋しい気持ちや大好きな気持ちをKくんがお引越するその日まで、一生懸命に伝えました。Kくんはまだ三歳なので訳も分からず、お姉さんたちに

優しくされて大喜びでしたが、ほしの子もたちの真つすぐで優しい気持ちにとても心が温かくなりました。人と人の出会いと別れがまた新たなものを生み出すことを改めて学んだように思います。これから子どもたちが、たくさんの人々に出会って、たくさん素敵な経験を積むことで、生きていて良かったと、自分や周りの人を大切に出来ることを願います。この先、たくさん壁もある長い人生だからこそ、未来が明るく幸せなものとなるように、私自身も日々と子どもたちに感謝して頑張りたいと思います。

保育士 大澤好美



最近子どもと接する中で一つ感じたことがあります。それは、子どもが希望に満ちた未来を描けていない、ということだと思います。理想より現実を求められる部分があるので、子どもたちから夢や希望が語られることが少なくなっているように感じられるのです。あれが出来ない、これが出来ないという話に終始してしまいがちで、「こうなりたいなこれが出来るようになるたいな」という話ではないのです。毎日のニュースでも分かるように、日本社会全体が今希望を持ってない現代社会だと言われています。そしてそれは、この現代に生きる子どもたちも反映しているといってもいいかもしれません。

私の仕事は、心理室という一つの部屋の中だけの仕事ですが、子どもたちが夢や希望を抱けるよう、子どもたちに勇気と励ましを与えていきたいと思っています。また、子どもたちに、夢や希望を持てる社会や環境を与えてあげられるよう、社会に生きる一人の大人として努力していきたいと考えています。

心理療法士 海野千鶴



# 活動報告

平成二二年  
4月～6月

- ・イースター
- ・ALT交流会(いちご狩りへ)
- ・日清小野選手来園交流
- ・群馬ヤクルト内田選手来園
- ・子ども教会ピクニック、花の日礼拝
- ・中川希望塾「金城浩二」講演会
- ・(EXA浜津さん星野さんより招待)
- ・子どもの日の集い
- ・幼稚園保育参観、バス旅行
- ・小六尾瀬学習
- ・群養協ドッジボール大会
- ・野菜の苗植え
- ・J.R東労組平和集会「月光の夏」

7月～9月

- ・子持山登山、ピクニック
  - ・J.Rボーリング大会招待
  - ・群養協調理実習
  - ・畑の草むしり、いも掘り
  - ・小中学校授業参観
  - ・子どもの教会キャンプ
  - ・群馬ダイヤモンドベガサス試合招待
  - ・ホーム旅行
  - ・夏休みわくわく体験企画
  - ・お盆に帰省できない児童外出
  - ・流しソーメン、パーベキュー
  - ・群養協ソフトボール大会
  - ・J.Rソフトボール大会招待
  - ・プロ野球パ・リーグ試合招待
  - ・地域育成会、夏祭り、運動会
  - ・小中学校奉仕作業、運動会
  - ・篠原さんより栗拾い体験招待
  - ・子どもの教会集い
  - ・デイズニオンアイス招待
- その他、多数の招待や寄贈等を賜っています。



パーベキューは楽しいね!!中澤名誉園長(中央)とボランティアさん。



子どもの日の集い



日清食品小野選手が遊びに来てくれたよ!!箱根駅伝伝説のヒーローに会ってみんな大喜び!!



恒例の子持山登山、山頂です!!



今年の夏は暑かったね~!!温泉じゃないよ、川遊びです!



流しソーメン~さいこ~~!!



新シオンホームの模型



現在のシオンホーム

## グループホームを新築します

六名の子もたちと親代わりの職員が、家庭に近い環境の中で毎日の生活を送っているシオンホーム(小規模グループケア事業)は、築四十年が経ち、耐震強度不足との認定を受け、改築することが決まりました。敷地内の空いた土地を活用して、新たに生まれ変わろうとしております。施工業者が決まり、着工に向けて準備を進めています。来春には新シオンホームが完成し、新たな一歩を踏み出す予定です。

最近、虐待を受けた子どもや、発達障害などの特徴をもった子どもが多く入所しています。子どもたちの生活環境を整えることと同時に、環境を最大限に生かした関わりの『質』を追求していきます。家庭生活の乏しい子どもたちにとって、将来自分の家庭を持った時のモデルとなるよう、そして、傷付いた心が癒され情緒が安定するよう、温かな雰囲気や職員と子どものかげがえのない結びつきを大切にしていきたいです。

このたび、県の補助事業として認定を受けますが、総事業費約四千万円に対して自己資金も一定の割合が必要となります。今後とも、皆様のご理解とご支援心よりお願い申し上げます。

# 創意工夫の夏休み

・この不景気…予算は減額か…?!  
 ・毎年恒例のホーム旅行だけは連れて行ってあげたい!!  
 ・ホーム旅行だけでは夏休みが長いなあ。  
 ・暑い毎日…うっしょっしょ…  
 ・無料の遊園地なんてないもんなあ  
 ・…そつだ!! それぞれの指導員が得意なことを行事として企画して、子どもの参加を募集したら面白いんじゃない?  
 ・それはいいね!! お金をかけない工夫をして思い出沢山作ろう!!

六月、夏休みをどう過ごすかと指導員が集まった。暗雲立ちこめていた雰囲気は某指導員の一言でにわかには渡り、とんとん拍子に話が進み、子どもより指導員の方がわくわく!!  
 どの行事をみても参加費二百円以下。  
 子どもたちに参加募集すると、興味や関心のある行事にソクソクと参加申し込みをしてくれた。  
 長い夏休み、ちょっとした工夫やきつかけで、楽しくわくわくする時間が過ごせることを、子どもたちのキラキラした瞳に改めて感じました。  
 企画した指導員も充実感満点。子どもの笑顔のためなら時間を忘れて向き合える職員がいることを誇りに感じました。

主任指導員 長島英之

## 夏休み! わくわく 体験企画 in 子持山学園

- 農業体験
- お菓子作り
- ソフトボール練習
- ポスター教室
- 天文観測会
- カブト採り体験
- ちよつと遠い公園遊び
- 自由工作
- オセロ大会
- 流しソーメン
- ALTの皆さんと交流

...etc



楽しかった お菓子作り パーベキュー!



オセロなら負けないよ!



ALTの皆さんと遊んだよ!!



毎年恒例! 流しソーメン!!



えさを仕掛けてカブト採り!!

誕生日だよ!



篠原さん・豊田園長



ボランティアの篠原さんの指導の下、農業体験をしました。とれたジャガイモでカレーを作ったよ! おいしかった~!!

お心遣いに感謝致します

(10・04) (10・09) 教諭略・順不同

寄付金

齋藤賢 山本多恵 榎アベックス 小野宇二郎 田代鮎子 松田次夫 石井久子 小沢精肉店 石田和男 丸橋敏邦 松田智行 日本善行会 陸川洋子 飯島克二 松本富子 小野徳太郎 山田一美 亀田充子 長島真 榊馬ワウダイ 中野順夫 島田卓爾 齋藤正子 子持郵便局 川原元次 石原止巳 秋山明 地行園 春日園 石坂賢児 樋口照信 坂本真次 榎旭石材工業 三愛社 豊田町子 原澤幸子 (M.E.A.T) 星野須藤いづみ 石坂初恵 石北医院 木村久子 相崎務店 飯塚寛巳 山口道子 小澤勝治 矢内晋作 島田製材所 真下光男 荻野尚俊 町田止史 近藤みさ子 狩野恵理 流川教会 流川教会子ども教会 石田公夫 布施英俊 森田利昭 柳井広史 樺手商店 渡辺真由美 遠藤昌男 田村和也 ロースマリー デュオ 荒井明 倉澤誠 佐藤勇 宮崎和子 石原貴雄 木暮公徳 長埤伸吾 酒井広治 木村三都子 阿部昭子 野田幸一 松井雄三 海野義政 橋本正博 関口松子 外山晴子 洋子 太田翔平 林宗嗣 宮下智海 萩原剛雄 広瀬猛 萩原和男 小金静枝 赤城地区更生保護女性会 子持地区更生保護女性会 新潟学園短期大学 (尙) 孔文社印刷 上原澄次 斎藤医院 流川皮膚科医院 春山商店 流川子持地区社会福祉協議会 八百軒 中川希望群馬実行委員会 中澤文字 大領直勝 他多数の各位

寄贈物品

榎アベックス 林宗嗣 榎塚商店 飯塚麻衣 加藤征一郎 中澤達雄 伊藤博之 川端和子 番場努 榎子ユチユアンチ 高橋友次 水澤亨 志村和子 桑原里奈 (株)エッセイ管理センター 竹之内邦江 イチハ電気 萩原史雄 中新井要子 高橋小苗 吉田まさ子 二ノ宮英造 武藤孝夫 高橋さみ江 清水こず江 亀山理映 丸田舞華 大類博史 町田勝次 植治洋子 他多数の各位

ボランティア

児童交流 須藤いづみ 流川地区A.L.T. 木村久子 ベビーマッサージ 林 弘子 書道 山口道子 大塚廣末 絵画教室 ビノキ絵画教室 学習 群馬県青年赤十字奉仕団(五十嵐美季 片岡由佳 金子彩乃 都丸希美 穂沢優人) 群馬大学生 (栗村健一 早川愛美 宮下せいら)

掲示板

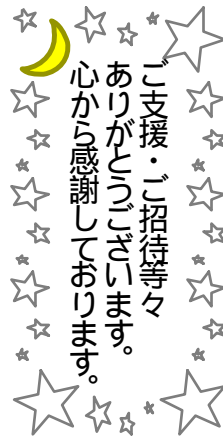
職員退職 新任職員就任のお知らせ

平成二年八月末をもちまして石田仁美(保育士)が退職致しました。大変お世話になりました。平成二年十月より大竹さゆり(保育士)が非常勤職員として採用となりました。今後とも指導の程宜しくお願い致します。

シオンホーム新築のお知らせ

(本誌ホームページ参照) 小規模グループケア事業を展開しているホームですが、『耐震化等臨時特例基金事業』を活用させて頂いて改築(新築)させて頂くことになりました。指名競争入札を実施し、左記の施工業者が選定されました。平成二十三年三月の完成を目指しています。

設計監理 (尙)相崎工務店(流川市中村) 施工業者 (尙)南澤建設 (流川市流川)



ご支援・ご招待等々  
ありがとうございます。  
心から感謝しております。

エキスパートチャリティアンソニエーション様  
エキスパートグループの皆さまより三百万円の寄付を賜りました。「シオンホーム新築事業」の自己資金の一部に充当させて頂きます。

エキスパート児童福祉支援協会様

昨年度二名の高校卒業児童に各十五万円の自立支援資金を支援頂きました。アパートの契約費用や自立生活に必要な物品の購入等、自らの力で社会自立していく子どもたちにとって、とても有り難い支援です。

榎アベックス様

総額約三百万円相当の物品(寝具 マット レス 枕等々)を頂きました。子どもたちの健やかな安眠は明日への活力です。

県共同募金会様「NHK 歳末たすけあい」  
上手新聞様「愛の募金」  
普通自動車免許を取得する四名の高校生が一人当たり二十万円の支援(配分)を受けました。県民の皆様のご善意に感謝します。

大類博史様

マジック&歌謡ショーの招待。全員にケーキのプレゼントも頂きました。

軽井沢おもちゃ王国様

「おもちゃ王国の休日」園内無料招待  
大好きなおもちゃ王国にまた行きたい!!

榊馬タイヤモンドベガサスホーム戦招待

群馬タイヤモンドベガサスホーム戦招待

JR東武組高崎地方本部様

「旅のプレゼント」「ソフトボール大会」「ボリング大会」「平和祈念集会」等々  
また、今年是中国歴訪の旅に小学六年男子指導員一名が参加させて頂いています。

(財)群馬県スポーツ振興事業団様

プロ野球パ・リーグ公式戦招待

流川市民吹奏楽団様

流川市民吹奏楽団第三十回定期演奏会招待

群馬県遊技業協同組合青年部

群馬テレレ様  
ディズニー・オン・アイス福祉招待

篠原徹様

畑仕事体験 栗拾い等々。

善行会様

チャリティゴルフコンペの収益金の寄付  
餅つきのご奉仕

自転車 お米、洋服 靴下 りんご、電化製品 野菜、果物 うどん、マイクローパスの貸出 子どもとの触れ合い、励まし、寄付等々 大勢の皆さまの温かな善意の上に私たちの生活が成り立っております。

先日も海外から日本に来て居住されている方

(小金様)が、日本の施設に寄付をしたとのことでした。今後とも宜しくお願い申し上げます。

北極星

ちよつど一年前、仕事も住む家もなく借金を抱えて途方にくれていた卒園生のF男に、手を差し伸べてくれたのが今の職場だ。当時社長はF男の借金を肩代わりし、作業着代として二万円、財布から差し出した。「縁もゆかりもないお前のためにここまでしてくれる人がいるだろうか」。私はF男に何度も確かめた。その後、生活は安定し、趣味にも手が出せるまでになった現在のF男には、社長への恩義よりも隣の芝生が輝いて映り、先日、自己都合で転職してしまつた。

日常の場面で、職員は子どもに「相手の気持ちを考えて」と促すことがよくある。相手の気持ちを考えてたら適切な行動に結びつくだろうとの思いだ。F男にも同様に伝えてきたはずだが、「相手の気持ちを考える」ことが難しいのか。相手の気持ちよりも自分の気持ちの方が勝る場面が多いのか。全てでなく、一部分でも他者への気遣いができ、行動として表現できるようになってほしい。そのためには、具体的に方法を教えていくことが重要だ。そして同時に、子どもの気持ちや感情を育む関わりが親代わりの我々支援者に求められていることを常に確認し合いたい。

(長島)